

この笑顔消さないで

広島・長崎・沖縄 平和願いイベント



イベントの準備のため、原爆ドーム前に並べられた笑顔の傘—水谷事務所提供

被爆から65年の夏を迎える広島、長崎と太平洋戦争で激しい地上戦のあった沖縄で8月、世界の子供たちの笑顔をプリントした傘100本を開き平和を祈る「メリーアンブレラ・プロジェクト」が開催される。戦争で聴

力を奪われた元兵士の父親を持つアートディレクターの水谷孝次さん(59)＝東京都港区＝が企画。水谷さんは子供が笑顔でいられたらいい。平和は大切というメッセージを発信したい」と話している。

水谷さんは80年代から大手企業の広告ボスターを手がけ、世界的な賞も受賞してきた。99年から「デザインで人を幸せにしよう」と26の国と地域で3万人以上の笑顔を撮影し、05年愛知万博や08年北京五輪開会式などで発

表。今年5月は上海万博会場と東京・渋谷で同時に笑顔の傘を開くイベントを実施した。水谷さんの父は太平洋戦争で出征し南方戦線で負傷。聴力を失ったのはこの時だった。「父は戦争についてあまり語りたがらなかった。いつも怒りっぽく、それゆえに父の不満や戦争の悲惨さを子供心に感じた」と話す。イベントでは核兵器を含めた戦争の悲惨を訴え、8月1日に広島

の原爆ドーム前、7日に長崎の平和祈念像前、14日に沖縄の平和祈念堂前で行い、地元市民や学生らが参加。会場には子供顔をプリントした傘が並べられ、子供の写真は、水谷さんが中国・四川大地震被災地の綿陽市、インドネシア・スマトラ沖大地震のバンドアチェ市などで撮影したものが中心となる。

【小泉大士】



新 毎 日 新 聞 日

夕刊

7月28日(水)

2010年(平成22年)

発行所：東京都千代田区一ツ橋1-1-1

〒100-8051 電話(03)3212-0321

毎日新聞東京本社